

地域振興への長年の寄与たたえ

8個人・11団体を表彰



表彰を受けた大東高鹿踊部がアトラクションで勇壮な踊りを披露。会場から大きな拍手が送られました

20年度一関市民憲章推進大会
(二関市民憲章推進協議会主催)
は10月22日、同協議会関係者や
市民ら約350人が出席し、大
東コミュニティセンター「室蓬
ホール」で行われました。

大会では、市民憲章唱和、市民
歌育唱に続き、同協議会の懸田
等会長が「市民憲章は、社会の状
況に適応しつつも揺るぎない市
民のありようを示している。今
後とも皆さんの理解の下に推進
に努めていきたい」とあいさつ。
続いて、率先して地域社会の振
興に寄与した8個人、11団体に
対する同協議会表彰と、本年度
花いっぱいコンクールの表彰が
行われました。

大会の後半では、田茂木自治
会(室根)と銅谷民区(一関)、藤
野静枝さん(大東)による事例発
表が行われ、出席者はそれぞれ
の特色ある活動の成果に、熱心
に耳を傾けていました。
同協議会表彰受賞者は、次の
とおりです。(敬称略。50音順)
◎個人：▽石川シゲ子(大東)▽
岩淵征子(一関)▽片倉哲子(大

東)▽小岩邦彦(室根)▽佐々木
國夫(東山)▽菅原明(一関)▽橋
本長治(同)▽藤野静枝(大東)
◎団体：▽芦東山先生顕彰会▽
一関市スポーツ指導者協議会▽
一関市大東大原水かけ祭り保存
会▽岩手県立大東高等学校鹿踊
部▽(株)ケーエムエフ▽川崎21世

紀国際交流クラブ▽洪民老人ク
ラブ連合会▽花のまち交流協会
▽花泉沃野太鼓▽PALPAL
交流事業岩手推進本部▽三室老
人クラブ新生会

◎問い合わせ先
本庁協働推進課交流推進係

戦没者の冥福を祈り献花

20年度市戦没者追悼式は10
月22日、一関文化センターで
行われ、参列した遺族ら約6
00人が、市内の戦没者40
65人の冥福を祈りました。
式では、国歌斉唱に続いて、
浅井市長が「奇烈を極めた戦



戦没者の冥福を祈り手を合わせる参列者

争で亡くなられた方々のご冥
福を心からお祈りします。私
たちは、今日の繁栄が幾多の
尊い犠牲の上に築かれたもの
であることを忘れることなく、
次の世代に語り継ぎ、永久平
和都市の決意の下、明るく豊
かな住みよい社会の実現ため
一層の努力を続けることを
誓います」と式辞。戦没者の在
りし日をしのんで参列者全員
で黙とうを行いました。

佐々木時雄市議会議長と藤
原一二三岩手県遺族連合会会
長、遺族代表の松川幸彦一関
市遺族連合会会長が追悼のこ
とばを捧げた後、市長、来賓、
遺族らが次々に献花台に花を
手向け、静かに一礼して戦没
者の冥福を祈りました。

華やかにハーモニーの競演

「合唱のまち」一関の秋を彩る
東日本合唱祭は10月18日、一関
文化センターで催され、会場を
埋めた合唱ファンを魅了した。
19回目の合唱祭は、今年度全
日本合唱コンクール東北支部大
会で金賞を受賞した一関一高音
楽部の若々しい歌声で開幕。続
いて、台湾から迎えた沂風女声
合唱団が、お国ものの民謡など
を表情豊かに奏でました。盛岡
コメット混声合唱団は、平泉と
石川啄木にちなむ合唱曲で、
深々とした美しい日本語を披露。



上 高度な合唱の技術に加え、サービ
ス精神たっぷりの楽しいステージ運
びで聴衆の心をわしづかみにした、
なにわコラリアーズ
下 身ぶりを交えながら、表情豊かに
民謡などを演奏し聴衆を魅了した、
沂風女声合唱団

東京ラヴィアンクルは、現代
作品を中心に、潤いに満ちた美
しい女声合唱を聴かせました。
招待合唱団ステージのトリを務
めた大阪のなにわコラリアーズ
は、有り余る美声と重厚なハー
モニーで男声合唱の魅力を会場
いっぱい響かせました。
最終ステージは、招待合唱団
と地元合唱団総勢約380人に
よる恒例の大合同合唱。合唱祭
顧問の吉村信良・全日本合唱連
盟名誉会長によるユーモアたっ
ぷりの進行で「ハレルヤコーラ
ス」や「赤とんぼ」、聴衆も加わっ
ての手法コーラス「歌声を世界
に」などが演奏され、「大地讃頌」
の大合唱で幕を閉じました。

「思いを歌声に乗せて」 —萩荘中で合唱交流会—



合唱祭前日の10月17日、東京
ラヴィアンクルのメンバー22
人が萩荘中学校(井上博幸校長・
生徒193人)を訪れ、同中体育
館で合唱交流会を行いました。
同団による演奏の後、指揮者
の岸信介さんにより、同26日に
行われる同校文化祭での全校合
唱曲「信じる」を題材に、歌唱指
導が行われました。「この曲が好
き」という思いを歌声に乗せて」
と語る岸さんの熱意あふれる指
揮の下、同団メンバーの美しい
歌声に間近に触れながら曲づく
りが進められると、最初緊張気
味の生徒たちも次第に目を輝か
せて歌い、合唱の楽しさを改め
て感じた様子でした。

教育委員会委員

新委員に菅原良一郎氏を任命



菅原良一郎委員

市教育委員会の委員に、菅
原良一郎氏(46)が千厩町千厩
に任命されました。
北村健郎氏の任期満了に伴

い、市議会の同意を得て市長
が任命したもので、任期は20
年10月29日から4年間です。
新委員長に鈴木功氏
10月29日、教育委員会議が
開かれ、新たな委員長に鈴木
功委員、同職務代理者に内田
正好委員、小野寺眞澄委員が
決定されました。

地域ぐるみの環境活動に全国表彰

—津谷川小学校PTA—

津谷川小PTAは10月21日、平成20年度リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞しました。
同校は平成3年度から、資源回収の取り組みを開始。児童数の減少に伴って14年度からPTA事業として地域ぐるみの協力で続けられ、収益金を福祉施設や団体に寄附してきました。こうした長年の環境活動への積極的な取り組みが高く評価され、全国表彰されたものです。

22日、芳賀義明会長、皆川英子教頭、
島山梢児童会長(6年)が市役所本庁を訪れ、浅井市長に受賞を報告しました。浅井市長は「長年の活動が評価されての受賞。教育効果として素晴らしいですね」と祝辞。芳賀会長は「各家庭の理解と、福祉という良いレールを先輩たちが歩いてくれたおかげです」と受賞の喜びと感謝を語りました。



浅井市長に受賞報告した芳賀会長(右から二人目)、島山さん(同三人目)、皆川教頭(左)